

事業番号	02 08 06	事業改善シート(27年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	移住・交流推進事業費			担当課	部局	企画振興部	
					課・局・室	地域振興課	
総合5か年計画	プロジェクト	6-2-1「誇りある暮らしの実現」、7-3-0「活動人口増加」、5-2-4「雇用・社会参加促進プロジェクト」、1-3-5「次世代産業創出」			E-mail	shinko@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	2-1魅力ある地域の創造と発信、5移住・交流の推進、1-6職業能力の開発と安心できる雇用・就業環境づくり、2雇用の促進			実施期間	H15 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<p>○大都市からの移住、「週末信州暮らし」を促進し、移住・交流人口の拡大を図り、地域の活力を創出する。</p> <p>○Iターン就職を促進し、Iターン希望者の職業紹介及び県内企業の人材確保を図り、地域の活性化に資する。</p> <p>【目標】 行政サポートによる移住者、Iターン就職者：396人(H22実績) ⇒ 510人(H25実績) ⇒ 1,000人(H29目標)</p>	
現状(予算編成時)	<p>○「長野県移住・交流推進戦略(H24.3.16)」に基づき、官民協働の「田舎暮らし」楽園信州」推進協議会」が三大都市圏で移住セミナーを開催、移住専門誌等で情報発信。</p> <p>○移住希望者の最大の懸念である働き口を確保しつつ、住まいの情報などをワンストップで提供する体制整備が必要。</p> <p>○移住先人気 No.1の維持(田舎暮らしの本読者アンケート=9年連続1位、ふるさと回帰支援センター利用者アンケート=3年連続1位)</p>	
県が関与する理由	<p>県でなければ実施不可(その他)</p> <p>県民との協働による実施： 実施中</p>	<p>【左記の説明、根拠法令等】</p> <p>広域自治体である県が、市町村、民間団体との役割分担のもと、連携して実施することが効果的な事業である。</p>

成果目標・事業内容	① 成果目標(H27)					
	<p>人口の社会増を目指す。</p> <p>行政サポートによる移住者数 (H27目標800人、うちIターン就職者数70人) ⇒H29目標1,000人</p> <p>根拠: 長野県移住交流推進戦略、うちIターン就職者数については長野労働局との協議により毎年度設定(前年プラス5)</p>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H27実施内容	H27		
				(補正前)	(2月補正)	(補正後)
	移住相談窓口機能強化	委託・直接	ふるさと回帰支援センター内の県の資料ブースと無料セミナーの開催回数を増加させ移住相談員を配置 銀座NAGANOの就業相談等を専門事業者へ委託し、職業斡旋や就業のマッチングを強化 都市圏へ移住推進員を配置	3,259	13,405	16,664
	楽園信州移住相談センターの整備	補助金	県内への移住・就業希望者に対して、仕事と住まいの情報を一体的に提供する楽園信州移住相談センターを設置	0	2,000	2,000
	しあわせ信州なでしこ移住アカデミー	委託・直接	銀座NAGANO等においてターゲット・テーマ(女性、起業など)を明確にしたセミナーを開催(一部、都市農村共生・対流総合対策事業として実施)	5,799	0	5,799
	楽園信州住まい情報システムの構築	負担金	県、市町村、県宅建業協会で「楽園信州住まい情報システム」を構築し、移住者向けの物件情報を集約して提供	0	0	0
	信州暮らし案内人の配置	直接	長野県への移住に係る相談や情報提供の総合的な窓口として、従来の「田舎暮らし案内人」を「信州暮らし案内人」に改称し地域振興課へ配置	0	0	0
田舎暮らし「楽園信州」推進協議会事業	負担金	県、市町村、民間団体で構成する官民連携の協議会において、雑誌やネット配信によるPRやHPの改修等の戦略的情報発信の実施	2,439	15,336	17,775	
Iターン促進事業	直接	就業支援統合システムのリリース、保管、保守管理(HP「Iターン信州」の運用、Iターン登録制度の運用)国(ハローワーク)との一体的実施	0	0	0	
都市圏に向けた広報宣伝事業	直接	移住専門誌への特集記事掲載により、移住希望者を掘り起こし、相談窓口へ誘導	4,806	0	4,806	
中央日本四県共同イベント開催事業	負担金・直接	中央日本四県(長野、静岡、山梨、新潟)が連携し、山、自然、農などライフスタイルの魅力をアピールし、二地域居住をテーマとした共同イベントを開催	0	5,900	5,900	
ライフスタイルデザイン国際会議の開催	委託	21世紀にふさわしい真の豊かさを実感できるライフスタイルを発信する国際会議を開催	0	24,918	24,918	
		合計	16,303	61,559	77,862	

事業コスト	区	分(単位:千円)	24年度	25年度	26年度	27補正後
	予算額	前年度繰越				30,767
		当初予算	30,844	29,769	20,876	8,238
		補正予算			30,767	69,624
		合計(A)	30,844	29,769	51,643	108,629
	Aの財源	一般財源	24,135	23,069	20,833	2,439
		県債				
		国庫支出金			30,767	102,891
		その他	6,709	6,700	43	3,299
	決算額(B)	30,738	28,799	20,784		
概算人件費	職員数(人)	1.80	1.80	3.00	3.00	
	概算人件費(C)	14,864	14,864	24,774	24,774	
	概算事業費(B(A)+C)	45,602	43,663	45,558	133,403	

成果目標の達成状況				
項目	H26末(実績)	H27	H28	
		目標	成果	達成状況
行政サポートによる移住者数(人)	763	800		
Iターン就職者数(人)	68	70		

要求からの主な変更点	要求どおり
------------	-------